

## 郡山のうつりかわり

年号	なん年まえ	おもなできごと	年号	なん年まえ	おもなできごと
明治	~120年~ (明治12年)	○江戸ばくふがたおれ、明治せいふができた (1867年)	大正	~70年~ (昭和4年)	○日東ほうせき郡山工場ができた (1923年)
		○ほしんせんそいで、郡山は大火事になった (1868年)			○郡山町は、小原田村とあわさって市となった (1924年)
		人口 3千9百人			人口 3万9千人
明治	~110年~ (明治22年)	○阿部茂兵衛らが開成社をつくり、かいこんをはじめた (1873年)	昭和	~60年~ (昭和14年)	○桑野村が、郡山市に入った(1925年)
		○金透、行健、守山などの学校ができた (1873年)			○郡山市役所のたてもの(いまの合同庁舎)ができた (1930年)
		○郡山に、糸をとる工場がはじめてできた (1880年)			○市内バスがうんでんされた(1932年)
明治	~100年~ (明治32年)	○安積そ水ができ、水がとおされた (1882年)	昭和	~50年~ (昭和24年)	○水郡線ができた (1934年)
		○東北本線が、郡山までできた (1887年)			○日東ほうせき富久山工場ができた (1937年)
		○安積中学校(高校)ができた			○NHK郡山放送局ができた(1941年)
大正	~90年~ (明治42年)	○郡山は、町になった(以上1889年)	昭和	~40年~ (昭和34年)	○県内各地で水がいにあった(1941年)
		人口 8千人			○第二次世界大戦が始まった(1941年)
		○郡山と三春のあいだに、鉄道馬車がはした (1890年)			○郡山の工場や駅などがばくげきされ、大きなひがいをうけた(1945年)
大正	~80年~ (大正8年)	○磐越西線が、郡山と会津若松のあいだにできた (1898年)	昭和	~30年~ (昭和24年)	○せんそうがおわった (1945年)
		○沼上発電所ができた (1898年)			○郡山でテレビがみられるようになった (1953年)
		○郡山に、はじめて電とうがついた			○富田・大槻・高瀬・岩江が郡山市に入った (1955年)
大正	~70年~ (大正10年)	○郡山で自転車が見られるようになった (1899年)	昭和	~20年~ (昭和14年)	○郡山市民会館、図書館ができた (1958年)
		○せんばい公社郡山工場ができた			○東北本線に電車がはした(1958年)
		○福島が市になった (1904年)			○開成山公園にプールができた (1961年)
大正	~60年~ (大正12年)	○豊田浄水場ができた (1912年)	昭和	~10年~ (昭和4年)	○郡山の電話がダイヤルとなった (1962年)
		○磐越西線が新潟までできた (1914年)			○新安積そ水ができた (1962年)
		○保土谷化学郡山工場ができた (1916年)			○三森峠がかいつうした (1962年)
大正	~50年~ (大正13年)	○磐越東線ができた (1917年)	昭和	~0年~ (昭和3年)	○新産業都市にきまった (1964年)
		○国鉄郡山工場ができた (1919年)			○東京オリンピックがあった(1964年)
		○磐越西線が、郡山と会津若松のあいだにできた (1914年)			